



平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ツヴァイ

コード番号 2417 URL <http://www.zwei.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮武 正容

問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略本部長 (氏名) 原田 直樹

TEL 03-6858-6544

四半期報告書提出予定日 平成25年10月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	2,096	—	95	—	135	—	76	—
25年2月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年2月期第2四半期 172百万円 (—%) 25年2月期第2四半期 100百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	19.56	19.31
25年2月期第2四半期	—	—

(注) 平成25年2月期第2四半期は、連結財務諸表を作成していないため、平成25年2月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年2月期第2四半期	4,967	—	4,046	—	80.9
25年2月期	4,975	—	3,985	—	79.3

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 4,018百万円 25年2月期 3,948百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	30.00	30.00
26年2月期	—	0.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,400	2.4	380	13.7	410	12.3	195	0.7	50.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期2Q	3,900,000 株	25年2月期	3,900,000 株
② 期末自己株式数	26年2月期2Q	277 株	25年2月期	277 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期2Q	3,899,723 株	25年2月期2Q	3,899,764 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や金融政策の効果などを背景に企業収益が改善されるなど景気回復への期待感も徐々に高まってきております。その一方で、景気回復の実感には至っておらず、消費税増税を巡る動きなどの景気を押し下げるリスク要因もあり、依然として景気の先行きは不透明な状況となっております。

このような状況下にあつて、当社グループは、「ツヴァイ事業のサービス刷新」「新しい成長への挑戦」「アジアでの事業展開」について重点的に取り組みました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は、20億96百万円、営業利益は95百万円、経常利益は1億35百万円、四半期純利益は76百万円となりました。

※2013年2月期第2四半期は、連結財務諸表を作成していないため、業績数値の前年同四半期との比較は行っておりません。

事業別の概況は次のとおりであります。

(国内ツヴァイ事業)

国内ツヴァイ事業につきましては、サービスの抜本的な見直しを行いました。平均給与の変化や職種・雇用形態・働き方の多様化などお客さまの変化に対応するために、全ての世代のお客さまが入会しやすい価格設定やそれぞれのお客さまに最適な付加サービスを提案できる商品を販売いたしました。出店につきましては、3月に「ツヴァイ奈良」をイオンのショッピングセンター「ならファミリー」に、6月には「ツヴァイ新宿」を移転活性化いたしました。「ツヴァイ新宿」につきましては、最寄り駅から直結するなどお客さまの利便性の高い立地でチャティオパーティ専用ラウンジや会員様相談機能を充実させた店舗となっております。また、会員様向けサービスとして、会員マイページ上での写真閲覧システムを導入し、ご自宅からお相手の写真を閲覧できるようになりました。

これらの取り組みにより、第2四半期連結累計期間の新規入会者数は、前期比114.5%となりました。

(チャティオ事業)

パーティ・イベント事業であるクラブチャティオにつきましては、パーティ開催数・パーティ参加人数を大幅増加させ、事業拡大に取り組みました。6月には、新宿ラウンジを開設し、首都圏の強化に取り組みました。また、ヤフー株式会社やfacebook omiaiを運営する株式会社ネットマーケティングとの提携などによる登録会員数の増加に取り組みました。これにより、登録会員数は32,000人を超え、売上高は前期比181.3%となりました。

(ウエディング事業)

ウエディング事業につきましては、3月にイオンモールつくば（茨城県つくば市）に、4月にイオンモール東浦（愛知県知多郡東浦町）にウエディングデスク単独店舗としてそれぞれ出店いたしました。また、結婚式場サイトを運営する株式会社みんなのウエディングと提携をし、ネットの利便性とリアル店舗による安心感により、お客さまがより相談しやすい環境を提供できるようになりました。これによ

り、成約件数は前期比147.2%となりました。

(海外事業)

タイでの事業につきましては、認知度の向上を図るためにケーブルテレビやラジオなどのメディアを活用し、基礎会員の獲得に取り組みました。パーティ・イベント事業を強化させるために新たな会員組織「Chatii Club」を立ち上げました。また、タイ在住の日本人・日本人駐在員向けのサービスとして、日本のツヴァイ会員様を紹介するサービスを開始いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、49億67百万円と前連結会計年度末に比べて8百万円の減少となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べて2億62百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金と関係会社預け金の合計である手元資金が設備投資や税金・配当金等の支払により減少したことによるものであります。固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べて2億53百万円増加しました。主な要因は、ツヴァイ新宿・ツヴァイ奈良等の移転活性化や新システムの構築などの設備投資により有形固定資産と無形固定資産が増加したこと、また保有株式の時価評価により投資有価証券が増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、9億21百万円と前連結会計年度末に比べて69百万円の減少となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べて1億40百万円減少しました。主な要因は、税金の支払による未払法人税等の減少と、前受金の減少によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて70百万円増加しました。主な要因は、保有株式の時価評価等による繰延税金負債の増加によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、40億46百万円と前連結会計年度末に比べて60百万円増加となりました。主な要因は、配当金支払い等により株主資本が減少したこと、保有株式の時価評価によるその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて2億35百万円減少し、20億14百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、24百万円となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1億35百万円、減価償却費74百万円、金銭の信託の減少額58百万円等による資金の増加と、前受金の減少額90百万円と法人税等の支払額1億6百万円による資金の減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は、1億43百万円となりました。支出の内訳は、有形固定資産の取得81百万円、無形固定資産の取得1億10百万円、敷金の差入40百万円であります。収入の内訳は、敷金の回収41百万円と保険積立金の解約による収入47百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は、1億16百万円となりました。その内訳は、配当金の支払額であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2014年2月期の連結業績予想につきましては、2013年4月9日に公表しました予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2013年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2013年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	350,030	564,383
売掛金	449,458	464,602
前払費用	68,201	87,207
関係会社預け金	1,900,000	1,450,000
繰延税金資産	16,171	16,637
金銭の信託	240,128	182,000
その他	17,286	14,517
貸倒引当金	△2,772	△2,876
流動資産合計	3,038,504	2,776,472
固定資産		
有形固定資産	237,506	280,528
無形固定資産	112,107	183,976
投資その他の資産		
投資有価証券	925,345	1,112,838
敷金	356,297	355,915
保険積立金	304,883	257,579
その他	1,317	226
投資その他の資産合計	1,587,843	1,726,560
固定資産合計	1,937,458	2,191,064
資産合計	4,975,962	4,967,536
負債の部		
流動負債		
買掛金	75,690	73,338
未払金	94,004	66,451
未払費用	99,423	136,263
未払法人税等	110,777	72,479
未払消費税等	18,821	9,180
前受金	177,591	87,160
賞与引当金	13,106	22,290
役員業績報酬引当金	28,670	10,335
設備関係未払金	2,094	2,998
その他	6,528	6,085
流動負債合計	626,708	486,584
固定負債		
退職給付引当金	55,387	58,913
繰延税金負債	231,542	292,799
資産除去債務	60,692	66,780
長期未払金	16,260	16,260
固定負債合計	363,883	434,753
負債合計	990,591	921,338

(株)ツヴァイ(2417)2014年2月期第2四半期決算短信[日本基準](連結)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2013年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2013年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	444,000	444,000
資本剰余金	450,000	450,000
利益剰余金	2,494,413	2,453,698
自己株式	△344	△344
株主資本合計	3,388,068	3,347,353
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	546,646	667,767
為替換算調整勘定	13,676	3,340
その他の包括利益累計額合計	560,322	671,107
新株予約権	21,932	27,737
少数株主持分	15,046	—
純資産合計	3,985,370	4,046,198
負債純資産合計	4,975,962	4,967,536

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年3月1日 至 2013年8月31日)
売上高	2,096,701
売上原価	993,154
売上総利益	1,103,546
販売費及び一般管理費	1,008,280
営業利益	95,266
営業外収益	
受取利息	2,467
受取配当金	14,819
為替差益	21,180
その他	2,016
営業外収益合計	40,484
営業外費用	654
経常利益	135,096
税金等調整前四半期純利益	135,096
法人税、住民税及び事業税	68,689
法人税等調整額	△5,581
法人税等合計	63,107
少数株主損益調整前四半期純利益	71,988
少数株主損失(△)	△4,288
四半期純利益	76,276

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年3月1日 至 2013年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	71,988
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	121,120
為替換算調整勘定	△21,093
その他の包括利益合計	100,026
四半期包括利益	172,015
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	187,061
少数株主に係る四半期包括利益	△15,046

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 2013年3月1日 至 2013年8月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	135,096
減価償却費	74,763
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	104
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,184
役員業績報酬引当金の増減額 (△は減少)	△18,335
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,529
受取利息及び受取配当金	△17,286
為替差損益 (△は益)	△21,180
売上債権の増減額 (△は増加)	△15,144
前払費用の増減額 (△は増加)	△19,073
金銭の信託の増減額 (△は増加)	58,128
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	2,236
営業債務の増減額 (△は減少)	△2,351
未払金の増減額 (△は減少)	△18,990
未払費用の増減額 (△は減少)	36,850
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△9,640
前受金の増減額 (△は減少)	△90,349
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△1,119
その他	6,522
小計	112,944
利息及び配当金の受取額	17,802
法人税等の支払額	△106,300
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,446
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△81,143
無形固定資産の取得による支出	△110,278
敷金の差入による支出	△40,964
敷金の回収による収入	41,297
保険積立金の解約による収入	47,304
投資活動によるキャッシュ・フロー	△143,784
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△116,991
財務活動によるキャッシュ・フロー	△116,991
現金及び現金同等物に係る換算差額	682
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△235,647
現金及び現金同等物の期首残高	2,250,030
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,014,383

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社グループは、結婚相手紹介サービス業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。